

第143回 科学技術部会	資料 1－2
令和 7 年 3 月 27 日	

令和 7 年度厚生労働科学研究費補助金（二次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
統計情報総合研究事業 (AB)	【再公募】 我が国におけるICD-11によるコーディングの普及・教育に 資する研究(AB-1)	・ICD-11に関するWHOおよび各国の適用準備の情報を整理した資料を作成すること。 ・臨床・研究を含む、特に医療現場で診療情報を扱う様々な立場の利用者が学びやすい教材を開発し、その教材を用いた教育研修の実施・評価を行うこと。 ・ICD-11のコーディングについて利用者が継続してスキルアップできる段階的教育カリキュラムと指導者育成の枠組みを開発すること。	6,000	1	3
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
倫理的法的社会的課題研究事業 (AD)	ゲノム情報による不当な差別等への対応方針策定とゲノ ム医療に関する啓発方法等の確立に資する研究(AD-1)	・ゲノム情報による不当な差別等の事例収集・調査を行い、これらの事例についてELSIの観点から整理する。 ・ゲノム医療に関する知識向上のための患者及び国民に向けた啓発資料案を作成する。 ・各分野の有識者と協議を行った上でゲノム情報による不当な差別等を防止するための政府対応方針案を作成する。 ・上記を踏まえ、ゲノム情報による不当な差別等を防止するための適切な啓発方法の案を作成する。	9,000	1	2
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
	がん対策における患者・市民参画を推進するための標準 教育プログラムの確立に資する研究(EA-1)	・がん対策における患者・市民参画の実態や国内外における患者・市民参画の仕組み(公募制、代表制等)に ついて情報収集を行い、現在行われている好事例、参画に際しての課題について取りまとめる。 ※都道府県協議会等への参画を含む。 ・がん対策推進協議会及び都道府県協議会等における委員等からの意見を反映した、がん対策に関わる活動 (ピア・サポート、がんに関する知識の普及啓発、がん対策推進協議会及び都道府県協議会等における委員の 活動等)に資する患者・市民参画の標準教育プログラムを開発する。 ・開発された標準教育プログラムについて検証を行い、実施の可能性及び有用性について、検証結果をとりま とめる。 ・開発された標準教育プログラムを活用した、患者・市民が参画できる教育体制の適切な構築方法を提案する。 ・患者・市民参画について理解を深めるための医療従事者や関係学会向けのツールを開発する。	8,000	1	2

がん政策研究事業 (EA)	がん診療提供体制の均てん化と集約化の推進に資する研究 (EA-2)	・都道府県や都道府県協議会における地域の実情に応じたがん医療の均てん化・集約化の議論に資する、都道府県ごとのがん患者の罹患率・死亡率、医療需要推計、がん種ごとの5年生存率等、必要なデータセットの作成。あわせて、拠点病院等を中心としたQIや、都道府県協議会等への当該QIの効果的な情報提供の手法の開発。 ・上記以外の、都道府県や都道府県協議会等に対する、がん医療の均てん化・集約化の議論に資する技術的支援に係る方策の検討。 ・国民の必要とする治療件数等の情報を一覧化して分かりやすく公表するウェブサイトの構築。	30,000	1	3
	肺がん検診における低線量CT導入に向けた運用と課題の検討のための研究 (EA-3)	・自治体において重喫煙者に対する低線量CTによる肺がん検診を実施するための課題の整理。 ・重喫煙者に対する低線量CTによる肺がん検診を実施する際の運用方法(対象者の抽出方法、検診の体制整備、精度管理体制等)の提案と、同検査を実施する際に留意すべき事項の抽出。	6,000	1	2
	固形がんを対象とするがん遺伝子パネル検査の適切なタイミングでの実施に向けたエビデンス構築に資する研究 (EA-4)	・固形がんを対象とするがん遺伝子パネル検査が臨床的に有用と考えられる検査実施のタイミングについて、リアルワールドデータを用いた解析及びその結果解釈を踏まえた提言を行う。	12,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業 (FA)	腹部大動脈瘤スクリーニングの有効性と手法の確立に資する研究 (FA-1)	・腹部大動脈瘤スクリーニングに関する国内外のエビデンスや実施にあたっての課題等をとりまとめた資料 ・我が国で効果的な腹部大動脈瘤スクリーニングを実施するための手法や、それを担う人材の育成方法の提案 ・腹部大動脈瘤スクリーニングの普及・啓発の手法の提案	5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
長寿科学政策研究事業 (GA)	介護データを活用した2040年を見据えた地域の介護サービス提供体制の構築及び科学的介護の推進に向けた研究(GA-1)	・医療提供状況の地域差を示すSCR(以下、医療SCR)を参考に、介護DBデータを活用した各種介護サービスの地域差を解析する手法を開発する。当該手法により医療SCRと同様の解析が行えるものとし、各地域において医療及び介護の提供状況が双方に把握できるようになるものとする。 ・上記で開発した手法に基づき、都道府県単位、二次医療圏単位、市町村単位のデータを作成する。 ・上記で策定した介護サービスの提供状況の地域差の指標や医療SCRを基に、地域の将来の介護需要を踏まえ、2040年に向けた介護サービス提供体制のモデルケースを人口減少地域、都市部、一般市等の地域別に作成する。 ・LIFEデータを集計し、介護現場にフィードバックすることでケアの内容の見直しに繋がる項目を提案する。検討にあたっては、第三者提供によるLIFEデータを活用し、集計することで、ケアの内容の見直しに資するフィードバックの事例を示すこと。	5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
障害者政策総合研究事業 (GC)	失語症者の障害等級の妥当性の検証および生活の質の向上のための調査(GC-1)	・現行のサービスの利活用にあたった課題を整理し、失語症者・支援者等を取り巻く環境を改善し、生活の質を向上するための具体的施策を検討するための基礎資料とする。 ・失語症者・支援者等が、これまでの経験を通じて必要と感じてきたニーズを体系的に把握する。 ・失語症者が社会経済活動に参加するにあたり、不足しているサービスの概要まとめる。 ・失語症者への支援等を検討する際の基礎資料とすることで、失語症者向け意思疎通支援者の派遣・養成事業等の施策の推進を図る。	9,500	1	3
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
エイズ対策政策研究事業 (HB)	【再公募】 MSMや薬物使用者に対するHIV感染予防・薬物使用防止のための支援策・啓発活動の確立に向けた研究(HB-1)	・いくつかの地域のMSMを対象としたメンタルヘルスや性行動、基本的な社会的背景、経済力等に関するアンケート調査の実施、及びその分析結果を踏まえたHIV感染予防策の開発、試行及び効果の評価。 ・薬物相談の専門機関(精神保健福祉センターなど)の職員、薬物使用の問題を抱えるMSM、HIV陽性等者へのインタビュー調査を踏まえた薬物依存からの回復や薬物使用防止に効果的な支援策の開発、試行及び効果の評価。 ・薬物使用の問題を抱えるMSMやHIV陽性者を支援する、HIV診療機関、支援機関、行政機関のネットワークと連携体制の構築に向けた提言。	12,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
地域医療基盤開発推進研究事業 (IA)	【再公募】 医療機関における国等が発信した医療安全にかかる情報の活用促進に向けた研究(IA-1)	以下の①～⑨の全てを実施する。 ＜外部情報の活用について(医療機関側の要因の調査)＞ ①病院における外部情報の活用の現状を把握する。 ②病院における外部情報活用の促進・阻害要因(病院側の要因)を同定する。 ③病院における外部情報の活用モデルを提案する。 ＜外部情報の活用について(外部情報側の要因の調査)＞ ④複数の外部情報(日本医療安全調査機構、日本医療機能評価機構からの発行物についてそれぞれ5以上 選定する)について、活用による医療安全向上の効果を評価する。 ⑤病院の医療安全向上に寄与する外部情報の特徴を明らかにする。 ＜医療安全支援センターが行う情報提供・研修について＞ ⑥医療安全支援センターから医療機関への情報提供・研修の実施状況・内容を把握する。 ⑦医療安全支援センターの視点から、医療機関に情報提供・研修する優先順位の高い項目を同定する。 ⑧医療機関の視点から、医療安全支援センターからの情報提供・研修の内容として需要が高い項目を同定する。 ⑨⑦⑧を踏まえ、医療安全支援センターからの情報提供・研修の標準的な内容を示す。	5,300	1	1
	【再公募】 首都直下地震における医療提供体制の構築にかかる医療資源評価に資する研究(IA-2)	最新の首都直下地震の被害想定に基づき、以下の項目を成果として求めることとする。 ・被災都道府県別の医療提供の指揮系統及び医療ニーズの特徴の整理 ・必要DMAT数の推定値の算出 ・DMAT等の医療チームの投入計画 ・広域医療搬送計画の更新案の作成 ・被災地内から被災地外への患者搬送フロー案の策定 ・医療機関が要するライフライン等のリソースの内容と量の見積もり ・訓練における検証結果	3,800	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
労働安全衛生総合研究事業 (JA)	【再公募】 協働ロボットの安全確保等のための研究(JA-1)	・協働ロボットの国内事業場での活用状況、協働ロボットの運転中等の危険の防止に 関連する最新の技術動向、国際規格、海外の規制等について調査を行い、協働ロボットの規制の将来の在り 方に係る提案を取りまとめる。協働ロボットの活用状況の調査に当たっては、ロボットメーカー及びロボットの ユーザーにおける「機能安全による機械等に係る安全確保に関する技術上の指針」(平成28年厚生労働省告 示第353号)や、同指針に基づく「機能安全活用実践マニュアルロボットシステム編」(平成29年度厚生労働省) の活用状況を調査すること。	4,300	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
-------	-------	---------	----------------------	---------	-----------------

健康安全・危機管理対策総合研究事業(LA)	【再公募】 2040年以降において地域ケアシステムの機能を維持するための自治体保健師の保健活動の見直しに向けた研究(LA－1)	・自治体保健師が優先して対応すべき業務等を明らかにする。 ・保健師不在または保健師少数自治体において他職種連携を踏まえた新たな保健活動の手法・体制等(効率化・広域化等を含む)の事例及び留意点を示す。 ・「保健師活動指針」の改正(予定)を踏まえ、地域ケアシステムの機能等を維持するために、他職種連携を踏まえた新たな保健活動の効率的な手法・体制等を検討する際の基礎資料を収集する。	8,000	1	2
-----------------------	--	--	-------	---	---